



令和2年度「船上山アカデミー」実施報告書

I 事業の概要

1 期日 令和2年12月26日(土)~27日(日) ※1泊2日

2 日程

1日目 12月26日(土)	2日目 12月27日(日)
10:00 出合いのつどい(R)	6:30 起床
10:15 オリエンテーション(R) 荷物移動	7:00 検温・朝のつどい(体)
11:00 交流レクリエーション(体)	7:30 そうじ(各担当場所)
12:00 昼食(食堂)	8:00 朝食(食堂)
13:00 個人学習①(R)	9:00 個人学習④(R)
14:00 カローリング(体)	10:00 ドッジビー(体)
15:00 個人学習②(R)	11:00 個人学習⑤(R)
16:00 遊び企画(R)	12:00 昼食(食堂)
17:10 諸連絡(R)	13:00 クラフト(門松づくり)(体)
17:30 夕食(食堂)	14:15 感想記入(食堂)
19:00 個人学習③(R)	15:00 別れのつどい(R)
20:00 入浴(1・2班→3・4班 30分交代)	15:30 解散
21:30 レクホール締め切り	
22:00 就寝	

3 ねらい

- ・自ら掲げた学習課題に個人で取り組み、学力の定着を図る。
- ・交流活動や集団生活を通して、自律した生活態度や互いにより良い関係を築こうとする態度を養う。

4 対象 小学4年生~中学3年生 24名(中学生…8名、小学生…16名)

5 応募者数・当日参加者数

応募者数35名、当日参加者数24名

(小学4年生:4名 小学5年生:6名 小学6年生:6名 中学生:8名)

6 参加費 3,100円

7 学生ボランティア

島根大学生4名

鳥取大学生1名(27日のみ参加)



II 実施状況

■ 1日目の活動<12月26日(土) 天候 くもり>

出合いのつどいで参加者はサポーター(大学生)と初めて顔を合わせ、いよいよ一泊二日の勉強合宿が始まった。まずは参加者同士の距離を縮める交流レクリエーション。緊張ぎみだった参加者の表情も活動を重ねるうちに徐々に柔らかくなり、笑顔が見られるようになっていった。最後は全員で協力する活動に取り組んだ。皆が力を合わせて成功させることで、子ども達の気持ちが一つになり、最高のスタートを切ることができた。

昼食後から、いよいよ個人学習が始まった。事前に目標カードに書いてきた内容と全体で学習の進め方を確認していった。主に前半は個人でじっくり学習に取り組む時間、後半はわからないところを質問する時間とした。わからないところがあれば、黙って挙手し、その子のところに学生ボランティアやスタッフが教えにいった。ピンと張りつめた程よい緊張感の中で学習が進んでいった。



個人学習の間に、カローリングや手品講座など、楽しい活動も取り入れた。今年は、新型コロナのこともあり、班で協力する活動を極力減らし、個人で楽しめる活動を計画した。どの活動も、終始和やかな雰囲気であった。また、休憩時間にバスケットボールをする姿も見られ、それぞれが工夫して気分転換を図っていた。

夜の活動でも学習時間を設けた。更にお風呂の後もレクホールを開放しておく数名はギリギリまで自習に励み、その姿に感心した。



■ 2日目の活動<12月27日(日) 天候 くもり>

朝のつどいで、検温、健康観察を行い、参加者の体調管理を徹底することができた。朝食後、個人学習から午前の活動が始まった。2日目になっても、どの参加者も集中力を切らすことなく学習に取り組んでいた。冬休みの宿題が全て終わり、塾の課題など自主学习に取り掛かる人も見られた。また、参加者とサポーターとの距離も徐々に縮まったのか、初日より質問する人が増えていった。わからない問題が解けると満足そうな表情を浮かべていた。

体を動かす活動では、ドッジビーを行った。この運動は年齢差に関係なく皆が楽しめる運動であるため、大変盛り上がった。

お昼を食べたあと、最後の活動の門松作りに取り組んだ。安全面に気をつけて竹を切り、それぞれが思い思いの門松を作成することができた。その後、食堂で感想を書く時間をとった。どの子もぎ



っしりと書いていて、充実した2日間だったことが伺えた。そのことは別れのつどいの時の班代表の感想発表でも伝わってきた。

保護者の方も一緒になって2日間の活動をスライドショーで振り返ることができた。大きなケガや病気もなく、どの子も2日間の活動を終え、自然の家を後にした。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

(参加者24名 アンケート 回収率100%)

事業全体の満足度:満足 20名、おおよそ満足 4名

《参加者の感想(抜粋)》

- ・私は今回の「船上山アカデミー」で良かったなと思ったことがあります。それは、みんな1人1人が明るく接することができたことです。私は最初緊張していたけど、みんなが友達のように接してくれたのですぐに打ち解けることができました。
- ・今回、学習面では自分の目標よりたくさん勉強することができました。それに、みんなで遊ぶ活動はとても楽しくて、毎回もっとやりたいなと思っていました。ぼくは去年も参加したけど、昨年と同じくらい今回もとても楽しかったので来年も来たいと思いました。
- ・勉強のことで、毎回1時間ずつなのに、すごく集中して出来たし、目標が全部クリアできました。そして、たくさんの友だちも出来たのでまた来年も参加して、みんなと会いたいと思いました。ごはんもすごくおいしかったです。

2 成果

- ・個人学習では、一人に一台の机を使って学習することにより、密を避けて学習することができた。また、学習時のルールを徹底することで、自力で解く時間とサポーターやスタッフに相談する時と、それぞれメリハリのある学習時間となった。
- ・今回は新型コロナ感染症対策のために、班で力を合わせたり、協力したりする活動を極力減らし、手品講座や門松作りなど、個人でも楽しめる活動を多く取り入れた。参加者の反応もまずまずの様子であった。
- ・朝のつどいで検温、健康観察をすることで、子どもたちの健康状態を把握し、指導員同士で共通理解を図ることができた。また、適宜空気の入替えや手指消毒の励行など、感染症対策を行いながら活動を進めることができた。

3 課題

- ・今回は学生ボランティアのサポートがあり、参加者にとっても大変ありがたかった。しかし日帰りだったため、男性指導員だけでは女子部屋への指導等、行き届かなかった面があった。